Microsoft® RoundTable™
設定ガイド

PartNo.X13-80760-01

このドキュメントに記載されている情報（URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む）は、将来予告なしに変更することがあります。お客様がこのドキュメントを運用した結果の影響については、お客様が負うものとします。別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メールアドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する会社、組織、製品、ドメイン名、電子メールアドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などとは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

© 2007 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows Server、Windows Vista、Windows XP、Office Communications Server、Office Communicator、Office Live Meeting、および Microsoft RoundTable は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の商標は、各社が権利を所有します。

目次

警告 4
はじめに 5
Microsoft RoundTable のしくみ 6
本体と付属品 7
システムの要件 8
Microsoft RoundTable デバイス本体 9
電源データ ボックスの各部 10
Microsoft RoundTable デバイスの裏面 11
Microsoft RoundTable デバイスの底面 12
Microsoft RoundTable の外付けダイヤル パッドと集音マイク 12
Microsoft RoundTable の設定 13
Microsoft RoundTable デバイスを設置する 13
電源データ ボックスと接続を設定する 14
外付けダイヤル パッドと集音マイクを接続する 17
日常のお手入れ 19
付録 A : 国別の電話アダプタ 20

警告

⚠ このマークは、注意事項を示すためにこのガイドおよび RoundTable のアクセサリ ガイドで使用されます。

⚠ **警告**

Microsoft RoundTable デバイスの設定、使用、および取り扱いが適切でない場合、RoundTable デバイスが損傷する危険性が高くなり、場合によっては大きな怪我、死亡事故にさえつながる恐れがあります。

⚠ **ご自分で修理を行わないでください**

RoundTable デバイス、電源データ ボックス、またはその他の周辺機器の分解、開封、修繕、または改造を行わないでください。感電、発火、またはデバイスの損傷を招く恐れがあります。RoundTable システムの各部を開封または改変しようとしたことを示す証拠がある場合 (シールがはがされていたり、穴が開いていたり、除去されているなど)、ライセンスと保証は無効になり、RoundTable デバイスの正規の修理はお引き受けできなくなります。

部品が損傷したり故障した場合または内部の部品が露出した場合は、マイクロソフトのサポート窓口までご連絡ください。

⚠ **警告**

ユニットを開封したり、リチウム電池を交換しようとしないでください。不適切な種類のリチウム電池に交換すると、電池が破裂する恐れがあります。

⚠ **警告**

電源データ ボックスやその他の部品を損傷しないために、次のガイドラインに従ってください。

- コードの上を歩かないでください。
- コードを強く握ったり、鋭角に曲げないように注意してください。特に、電源コンセント、電源データ ボックス、および RoundTable デバイスに接続する部分に注意してください。
- ひねる、結ぶ、鋭角に曲げるなど、電源コードを傷つける可能性のある行為は避けてください。
- 電源コードを熱源に近づけないようにしてください。
- 電源コードを抜く場合は、プラグ部分を持つようにしてください。コードを引っ張らないように注意してください。
- 電源コードまたは電源データ ボックスが損傷した場合、直ちに使用を止め、マイクロソフトのサポート窓口に連絡して部品を交換してください。
- 雷が発生した場合、または長い間使用しない場合は、RoundTable デバイスを電源から抜いてください。
- 製品に同梱されていた、または正規修理センターから受け取った電源供給ユニットおよび AC 電源コードのみを使用してください。
- 発電機やインバータなどの特殊な電源は、電圧や周波数が適合する場合でも使用しないでください。電源には、屋内配線の通常の AC コンセントのみを使用してください。
- 屋内配線、延長コード、電源コード、またはその他の電気部品に過重電流を流さないように注意してください。部品で必要とされる電流値（電源供給ユニットに記載。アンペア [A] 表記）と、回路につながれたその他のデバイスの電流値の合計を確認してください。
- AC 電源コードをコンセントにつなぐデバイスでは、次の指示に従って電源コードを接続してください。
    - 電源コードを電源データ ボックスに完全に差し込みます。
    - AC 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。

⚠ **警告**

緊急ダイヤルを使用できない音声電話技術を使用しています。

⚠ **警告**

この機器は、主電源が切れている場合は使用できません。

はじめに

離れた場所にいる相手と打ち合わせをしたいときは、ビデオ会議を利用すると従来の電話会議よりもずっと身近なやり取りができます。Microsoft® RoundTable™ は次世代ビデオ会議システムであり、360°を映し出すビデオ機能と発言者を自動的に検知する機能によって臨場感ある会議を実現します。

このガイドでは、Microsoft RoundTable デバイスのハードウェアを設置する手順と、このデバイスを使って会議を始めるときに必要な作業について説明します。

Microsoft RoundTable のしくみ

Microsoft RoundTable は、Microsoft® Office Live Meeting 2007 および Microsoft® Office Communicator 2007 と組み合わせて使用するビデオ会議デバイスです。ビデオ会議は、複数の場所からビデオとオーディオの同時転送を通して対話するためのインタラクティブな通信テクノロジです。ビジュアル コラボレーションとも呼ばれます。

Microsoft RoundTable は、次の目的に使用できます。

- 電話をかける
- 着信した電話に応答する
- オーディオのみのセッションを行う
- ビデオおよびオーディオによるセッションを行う

Microsoft RoundTable を会議テーブルの中央に置き、コンピュータ、コンピュータ ネットワーク、公衆交換電話網 (PSTN) アナログ電話回線、および電源データ ボックスに接続します。Microsoft RoundTable のカメラは、会議室全体を見渡すパノラマ ビューを撮影し、テーブルの周囲で発言されるすべての音声をとらえます (図 1 を参照)。

図 1. セッション中の Microsoft RoundTable 会議

本体と付属品

Microsoft RoundTable の製品パッケージには、次のものが含まれています (図 2 を参照)。

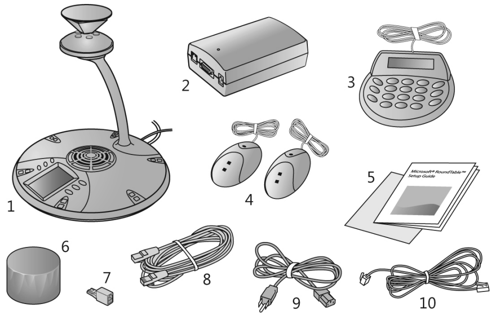


図 2. 本体と付属品

1. Microsoft RoundTable デバイス本体
2. 電源データ ボックス
3. 外付けダイヤル パッド
4. 集音マイク
5. 『Microsoft RoundTable 設定ガイド』および『クイック リファレンス カード』
6. プライバシー カバー
7. ロケール対応電話アダプタ
8. RJ45 ネットワーク ケーブル
9. 電源コード
10. RJ11 電話ケーブル

注意

この製品をご利用になる地域の電話回線アダプタについては、このガイドの付録 A 「国別の電話アダプタ」を参照してください。必ず最初に RJ11 電話ケーブルを電源データ ボックスに接続し、次に電話アダプタを RJ11 電話ケーブルの反対側に接続します。最後に、アダプタを電話の差し込み口に差し込みます。

システムの要件

Microsoft RoundTable のハードウェアおよびソフトウェアのシステム最小要件を次に示します。

- Windows XP™ オペレーティング システム（SP2 以降の 32 ビット版のみ）または Windows Vista™ オペレーティング システム（32 ビット版または 64 ビット版）を実行しているコンピュータ
- 2.0 GHz 以上のプロセッサを搭載したコンピュータ
- 2.0 GB 以上の RAM（推奨）
- 1.5 GB のハード ディスク空き領域
- 128 MB 以上の RAM を内蔵したビデオ カード
- 解像度 Super VGA (1280 × 1024) 以上のビデオ アダプタおよびモニタ
- キーボードおよびマウス、または本製品と互換性のあるポインティング デバイス
- 接続先の LAN または WAN に対応したイーサネット ネットワーク アダプタ。Microsoft RoundTable を実行するには、コンピュータが有効な有線イーサネットに接続されている必要があります。
- ハードウェア アクセラレータの設定を最大にしているグラフィックス ハードウェア
- アナログの PSTN 電話線
- Office Live Meeting 2007 または Office Communicator 2007（アクティブなスピーカーデバイスとしての使用時）

Microsoft RoundTable デバイス本体

Microsoft RoundTable デバイス本体をよく調べて、各部の機能を理解してください（図 3 を参照）。

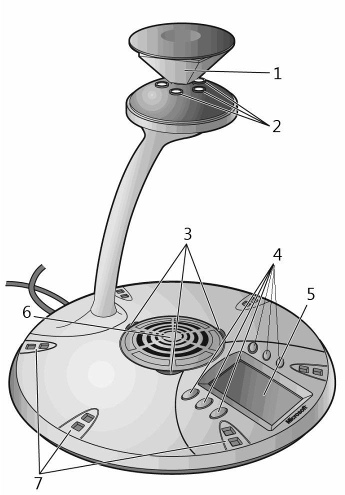


図 3. **Microsoft RoundTable デバイス本体**

1. **ミラー**：5 つのミラーによって、カメラに光が取り込まれます。
2. **カメラ**：5 つの小さいカメラによって、部屋の画像が取り込まれます。
3. **発光ダイオード (LED) の状態ライト** : 3 つの状態ライトによって、電話の接続、オーディオ/ビデオの動作、ミュート、および着信通話の状態が示されます。
4. **コントロール ボタン** : 6 個のボタンを使って、スピーカーのボリューム、ミュート、電話のオン/オフのフック、フラッシュ、および情報を制御できます。
5. **液晶ディスプレイ (LCD) タッチ スクリーン** : 電話機のダイヤルと同じように機能する LCD のダイヤル パッドを使って、簡単にダイヤルしたり、通話の状況を表示したりすることができます。

6. **スピーカー**： デバイスの中心部に位置するスピーカーによって、リモートから受信したオーディオが再生されます。
7. **マイク**：デバイスの周囲 60° ごとに配置された 6 台のマイクによって、室内のオーディオがキャプチャされます。

電源データ ボックスの各部

電源データ ボックスとケーブルをよく調べて、各部の機能を理解してください (図 4 を参照)。

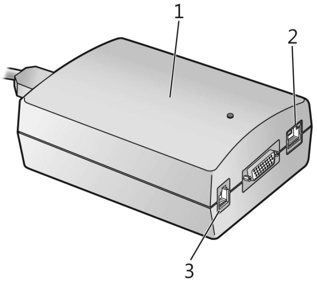


図 4. **電源データ ボックスのコネクタ部**

1. **電源データ ボックス本体**：イーサネット ネットワーク、PSTN、および Microsoft RoundTable デバイスに接続するためのデータ インターフェイスおよび物理インターフェイスとして機能するほか、Microsoft RoundTable デバイスに電源を供給します。
2. **RJ45 ジャック** : ネットワークを電源データ ボックスに接続する RJ45 ケーブルの差込口です。Microsoft RoundTable デバイスを外部から管理するときに、このネットワーク接続を使用します。
3. **RJ11 ジャック** : 電話回線を電源データ ボックスに接続する RJ11 ケーブルの差込口です。ご使用の地域に対応した電話アダプタをご用意ください。必ず最初に RJ11 電話ケーブルを電源データ ボックスに接続し、次に適切な電話アダプタを RJ11 電話ケーブルの反対側に接続します。最後に、アダプタを会議サイトの電話の差し込み口に差し込みます。この製品をご利用になる地域の電話回線アダプタについては、このガイドの付録 A 「国別の電話アダプタ」を参照してください。

Microsoft RoundTable デバイスの裏面

Microsoft RoundTable デバイスの裏面をよく調べて、各部の機能を確認してください (図 5 を参照)。

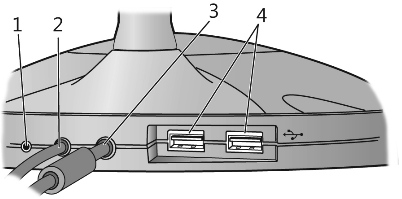


図 5. **RoundTable デバイスの裏面**

1. **リセット ボタン** : Microsoft RoundTable デバイスを再起動するためのボタンです。
2. **USB ケーブル** : Microsoft RoundTable デバイスをコンピュータの USB ポートに接続するケーブルです。
3. **システム ケーブル** : Microsoft RoundTable デバイスを電源データ ボックスに接続する 26 ピンのケーブルです。
4. **USB ポート** : 外付けダイヤル パッドを接続するための 2 個の USB ポート (タイプ A) です。

また、デバイスの裏面にあるセキュリティ スロットは、互換性のあるコンピュータ セキュリティロックを利用して盗難を防ぐのに使用できます (図 6 を参照)。

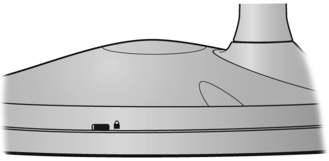


図 6. **セキュリティ スロット**

Microsoft RoundTable デバイスの底面

Microsoft RoundTable デバイスの底面をよく調べて、各部の機能を確認してください（図 7 を参照）。

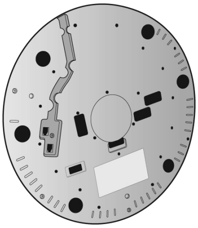


図 7. デバイスの底面

デバイスの底面には、集音マイクを Microsoft RoundTable デバイスに接続するための 2 個の RJ11 ジャックとケーブル用の溝があります。

外付けダイヤル パッドとマイクの接続方法の詳細については、このガイドの「外付けダイヤル パッドと集音マイクを接続する」を参照してください。

Microsoft RoundTable の外付けダイヤル パッドと集音マイク

Microsoft RoundTable には、アクセシビリティと利便性を拡張するために使用する外付けダイヤル パッドと集音マイクが付属します。これらの付属品を図 8 と 図 9 に示します。

図 8. 外付けダイヤル パッド

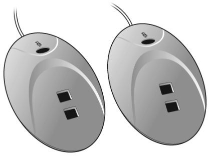


図 **9**. 集音マイク

Microsoft RoundTable の設定

Microsoft RoundTable の設定手順は単純です。次の手順に従って Microsoft RoundTable デバイスを設置し、実行してください。

- Microsoft RoundTable デバイス本体の置き場所を決めます。
- 電源データ ボックスと接続を設定します。
- 外付けダイヤル パッドと集音マイクを接続します。

Microsoft RoundTable の設定が完了すると、Microsoft RoundTable を電話、電話会議、またはリモートの会議に使用できます。

Microsoft RoundTable デバイスの使い方と最適な活用方法の詳細については、http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=87802 にある『Microsoft RoundTable ユーザー ガイド』を参照してください。

注意: カメラの先端部は壊れやすくなっており、衝撃によって損傷する可能性があります。倒したり、ノートブックなどをぶつけたりしないように注意してください。カメラの先端部の損傷、または誤使用、事故、衝撃によるアライメントのずれについては、限定保証を使用できません。

Microsoft RoundTable デバイスを設置する

Microsoft RoundTable デバイスを適切な場所に設置することは、ビデオ会議の開催中に最適な結果を得るために不可欠な作業です。次のガイドラインに従って、Microsoft RoundTable デバイスの設置場所を決めてください。

- 空調の整った乾燥した室内で、清潔な平面を選んで Microsoft RoundTable デバイス本体を置きます。
- 最適な結果を得るために、幅 4.5 m 未満の会議テーブルの中央付近にデバイスを置きます。
- 電源データ ボックスを置く場所には、通行の邪魔にならない、空調の整った、清潔で乾燥した場所を選びます。

⚠ 警告
以下に説明する注意事項を守らない場合、感電、発火、または Microsoft RoundTable デバイスおよび電源データ ボックスの損傷によって重大な傷害または死亡に至る恐れがあります。

電源データ ボックスと接続を設定する

前項の説明に従って Microsoft RoundTable デバイスをテーブルに設置した後で、コードとケーブルを電源データ ボックスに接続します。次のガイドラインに従って、Microsoft RoundTable デバイスの電源を選択してください。

- 電源データ ボックスと Microsoft RoundTable デバイスに付属する AC 電源コードのみを使用します。
- 発電機やインバータなどの特殊な電源は、電圧や周波数が適合する場合でも使用しません。電源には、屋内配線の通常の AC コンセントを常に使用します。
- アース付き 3 ピン プラグに対応した適切な AC コンセントを使用します。アース ピンを取り外さないでください。プラグの形状がコンセントに合わない場合は、業者に依頼してコンセントを適合品に交換してください。
- 湿度の高い場所で Microsoft RoundTable デバイスを使用することは避けてください。
- Microsoft RoundTable デバイス、電源データ ボックス、またはコードに液体をこぼさないでください。

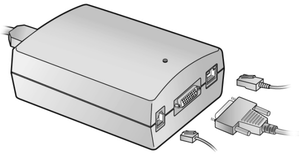
電源データ ボックスと Microsoft RoundTable 接続を設定するには

電源データ ボックス、RJ45 ネットワーク ケーブル、RJ11 電話ケーブル、および電源コードを用意します。次の手順に従って、ケーブルとコードを電源データ ボックス、Microsoft RoundTable デバイス、およびコンピュータに接続します。

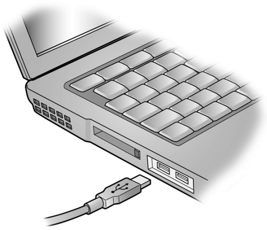
1. Microsoft RoundTable デバイスの 26 ピンのシステム ケーブルを電源データ ボックス側のコネクタに奥まで差し込みます。ケーブルがしっかりと固定され、遊びがないことを確認します。
2. 電源データ ボックスの RJ11 ジャックと通話可能な電話回線の RJ11 差し込み口を RJ11 電話ケーブル（26 AWG 以上）で接続します。米国以外のロケールで使用する場合は、必ず最初に RJ11 電話ケーブルを電源データ ボックスに接続し、次に適切な電話アダプタを RJ11 電話ケーブルの反対側に接続します。最後に、アダプタを会議サイトの電話の差し込み口に差し込みます。RJ11 コネクタは、米国およびカナダで使用されます。
3. 電源データ ボックスの RJ45 ジャックと通信可能なイーサネットの RJ45 差し込み口を RJ45 ネットワーク ケーブルで接続します。

4. 電源コードを電源データ ボックスに差し込みます。

システム ケーブル、電源コード、RJ11 ケーブル、および RJ45 ケーブルを接続する必要があります。必ず最初に RJ11 電話ケーブルを電源データ ボックスに接続し、次に適切な電話アダプタを RJ11 電話ケーブルの反対側に接続します。最後に、アダプタを会議サイトの電話の差し込み口に差し込みます。



5. Microsoft RoundTable デバイスとコンピュータを USB ケーブルで接続します。



6. 電源コードのプラグを壁の AC コンセントに差し込みます。

図 10 の状態になるように設定します。

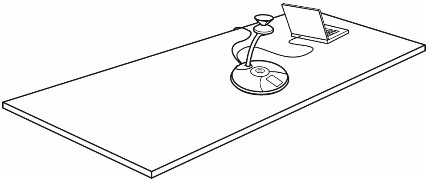


図 10. Microsoft RoundTable 設定

注意

必要に応じてシステム ケーブルをテーブルの上と床にテープで固定して、誤って差し込み口から抜けることのないようにします。必ず最初に RJ11 電話ケーブルを電源データ ボックスに接続し、次に電話アダプタを RJ11 電話ケーブルの反対側に接続します。最後に、アダプタを会議サイトの電話の差し込み口に差し込みます。

以上の手続きで、Microsoft RoundTable デバイスの設定は完了です。デバイスは使用できる状態です。Microsoft RoundTable デバイスを使用する前に、デバイスの先端を覆っているプライバシー カバーを取り外してください (図 11 を参照)。

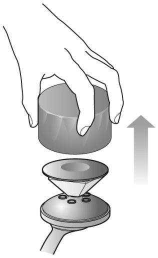


図 11. プライバシー カバーの取り外し

音響の品質を損なわないように、プライバシー キャップはデバイスから 1.8 m 以上離れた場所に置いてください。

外付けダイヤル パッドと集音マイクを接続する

外付けダイヤル パッドと集音マイクは、会議室が広く、出席者が通常の会議の場合よりも Microsoft RoundTable デバイスから離れている状況に対応するために用意されています。

図 12 に、広い会議室で外付けダイヤル パッドとマイクを配置して Microsoft RoundTable デバイスの機能を拡張する方法を示します。

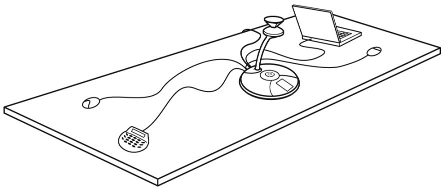


図 12. 外付けダイヤル パッドと集音マイク

外付けダイヤル パッドを設定するには

外付けダイヤル パッドを設定するには、次の手順を行います。

- 外付けダイヤル パッドの USB コネクタを Microsoft RoundTable デバイスの裏面にある USB ポートの 1 つに差し込みます。

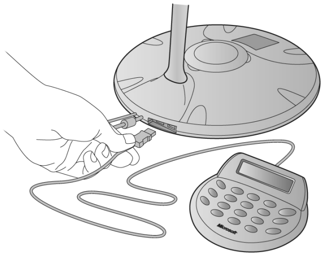
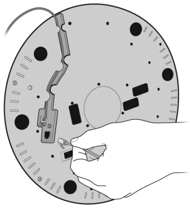


図 13. 外付けダイヤル パッドの接続

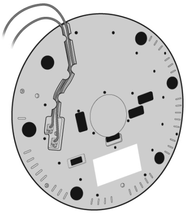
集音マイクを設定するには

集音マイクを設定するには、次の手順を行います。

1. デバイスの底面にある 2 つの RJ11 差し込み口が見えるように、Microsoft RoundTable デバイスを慎重に裏返します。
2. 集音マイクと RoundTable デバイスを RJ11 コネクタで接続します。



3. RJ11 ケーブルを溝に沿ってはめ込みます。ケーブルをしっかりと固定し、Microsoft RoundTable デバイスの底面からはみ出さないようにします。



4. Microsoft RoundTable デバイスをテーブルにまっすぐに置き、RJ11 コードの装着によってデバイスが浮き上がらないことを確認します。デバイスが不安定になっている場合は、前の手順に戻って、RJ11 ケーブルを溝に完全に押し込んでください。

日常のお手入れ

Microsoft RoundTable デバイスのボディと電源データ ボックスは、乾いた布で拭いてください。カメラ先端部（ミラーおよびレンズ）は、カメラや望遠鏡の販売店で入手できるマイクロ ファイバ製のレンズ クリーナを使用し、次の手順で汚れを落とします。

Microsoft RoundTable デバイスのレンズおよびミラーの汚れを落とすには

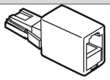
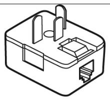
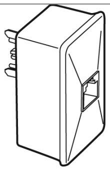
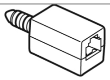
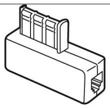
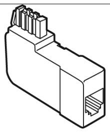
1. レンズの部品やミラーの鏡面には触らないように注意してください。ミラーの鏡面に指紋が着いた場合は、適切な方法で拭き取る必要があります。常に軽いタッチで磨いてください。
2. レンズの汚れを落とす前に、柔らかいレンズ用ブラシまたはエアー スプレーを使って砂ぼこり、ゴミ、その他のレンズ表面に傷を付ける可能性がある異物を除去します。その後で柔らかいレンズ用クリーニング ペーパー、糸くずの出ないコットン クロス、または清潔な綿棒でレンズ表面を静かに磨きます。
3. レンズの汚れがまだ落ちない場合は、レンズ用のクリーニング液（市販の光学レンズ クリーナーや家庭用の窓ガラス クリーナーなど）を使って油分を除去します。レンズの筒内に浸入する可能性があるため、クリーナーをレンズに直接塗布しないでください。使用するときはクリーナーをクロスまたは綿棒に染み込ませます。そのクロスまたは綿棒を円を描くように軽く動かして、異物を除去します。力を入れて擦ると、たとえば砂ぼこりをレンズ表面に擦り付ける結果になり、レンズの皮膜に傷が入る恐れがあります。
4. 同じような方法で、ミラーの汚れも落とします。力を入れて擦ると、皮膜が傷ついてミラーの反射が歪む恐れがあります。

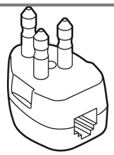
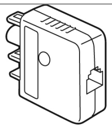
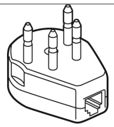
レンズおよびミラーをお手入れする際には、十分にご注意ください。カメラの先端部は壊れやすくなっています。カメラの先端部の損傷、または誤使用、事故、衝撃によるアライメントのずれについては、限定保証を使用できません。

付録 A : 国別の電話アダプタ

必ず最初に RJ11 電話ケーブルを電源データ ボックスに接続し、次に電話アダプタを RJ11 電話ケーブルの反対側に接続します。最後に、アダプタを会議サイトの電話の差し込み口に差し込みます。RoundTable デバイスをご使用になる地域の電話アダプタを確認するには、表 1 を参照してください。

表 1. 各国の電話アダプタ

ロケール	アダプタ
英国	
日本	
ドイツ (西ドイツのみ)	
インド	
フランス	
ドイツ	

イタリア	
オーストラリア	
オランダ